

令和3年度 免許外教科担任教員研修会 実施要項

1 目的

中学校の免許外の教科を担当する教員に対し、学習指導に関する研修を行い、指導力の向上を図るとともに、教育活動の充実に資する。

- 2 期 日 第1班 令和3年5月12日(水)
 ※美術・技術・家庭・保健体育
 第2班 令和3年5月19日(水)
 ※音楽・美術・技術・家庭

3 会 場 福島県教育センター (福島市瀬上町字五月田16)

4 参加者 以下の条件を満たす者(中核市を含む)

- (1) 音楽、美術、技術・家庭、保健体育の教科を免許外で担当している教員
 (2) 所属校内に同教科の免許を所持している教員がない場合

※受講者総数を120名程度とする。保健体育の定員に限定はない。音楽は18名、美術は18名、技術は15名、家庭は18名を各班の上限とする。

※受け入れ可能人数の都合上、研修を受講できない場合がある。

5 日程・内容

日時	音 楽	美 術	技 術	家 庭	保健体育
9:40	受 付 (※受付場所 体育館)				
9:55	開 会 (各教科)				
10:00	講義 「音楽科の学習指導の在り方①」 講義・協議 「題材構成と年間指導計画」 講義・演習 「A表現指導」 講義・演習 「B鑑賞指導」 講義・演習 「音楽科の指導と評価の在り方」	講 義 「美術科の学習指導の在り方」 講義・演習 「B鑑賞の教材の指導について」 講義・演習 「美術科の学習評価の在り方」 講義・演習 「A表現の教材の指導について」	講 義 「技術・家庭科(技術分野)の学習指導の在り方」 講義・実習 「題材研究と指導法Ⅰ」(内容D) 講義・実習 「題材研究と指導法Ⅱ」(内容C)講義・実習 「題材研究と指導法Ⅲ」(内容B)講義・実習 「題材研究と指導法Ⅳ」(内容A) 内容 A材料と加工 B生物育成 Cエネルギー変換 D情報	講 義 「技術・家庭科(家庭分野)の学習指導の在り方」 講 義 「題材研究と指導法①」 (A家族・家庭生活) (B衣食住の生活(食生活)) (C消費生活・環境) 講義・実習 「題材研究と指導法②」 (B衣食住の生活(衣生活)) 講 義 「技術・家庭科(家庭分野)の指導計画と評価の在り方」	講義 「保健体育科の学習指導と評価の在り方」 講義・演習 「体育実技」 講義・演習 「保健」 講義・演習 「保健体育科の学習評価の在り方」
16:30	閉 会 (各教科)				

6 準備物

音 楽	美 術	技 術	家 庭	保健体育
<ul style="list-style-type: none"> ・使用教科書 ・音楽科の年間指導計画(全学年分) ・アルトリコーダー ・校歌の楽譜 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用教科書 ・美術科の年間指導計画(全学年分) ・実習着(運動着等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用教科書 ・技術・家庭科(技術分野)の年間指導計画(全学年分) ・作業着(運動着) 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用教科書 ・技術・家庭科(家庭分野)の年間指導計画(全学年分) ・実習着(エプロン) 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用教科書 ・保健体育科の年間指導計画(全学年分) ・実技資料集 ・運動着 ・体育館用シューズ ・柔道着もしくは防具及び竹刀
<p>○ 「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 各教科編」 平成29年7月 文部科学省</p> <p>○ 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料【中学校 各教科】」 令和2年3月 国立教育政策研究所教育課程研究センター</p> <p>○ 上履き</p> <p>○ 食費 400円</p>				

7 留意事項

- (1) やむを得ず欠席・遅刻・早退をするときは、所属長に連絡し、指示を受ける。
- (2) 車で来所する場合は、来所経路・駐車位置について「駐車場案内図」を事前に確認すること。
なお、駐車場に限りがあるため、乗り合わせや公共交通機関の利用に御協力ください。
※「駐車場案内図」は、教育センターWebサイトで確認すること。

8 問い合わせ先

- (1) 欠席等について（市町村立学校は、市町村教育委員会・教育事務所経由）
福島県教育センター 総合企画チーム
TEL 024-553-3193
Email center-kikaku-gr@fcs.ed.jp
- (2) 研修内容について
福島県教育センター 教員研修チーム 各教科担当
TEL 024-572-4183
Email kyoin-kenshu-gr@fcs.ed.jp